

2014年3月25日

新宿区長 へ

法人名 NPO法人 高麗博物館  
 所在地 新宿区大久保1-12-1第2韓国  
 広場ビル7階  
 (フリガナ) リジチョウ ハラダ キョウコ  
 代表者氏名 理事長 原田 京子

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

### 1 助成対象事業

事業名	企画展示「韓国絵本とのすてきな出会い」制作事業
実施日時又は期間	2013年10月30日(水)～2014年1月26日(日) 期間中の講演会11月23日(土)と12月1日(日)の2回
対象者の範囲及び人数	一般・学生・子ども
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに基づき制作したパネルや日本語に翻訳された韓国の絵本を約100冊展示した。</li> <li>・絵本『あおがえる』の原画展をした。</li> <li>・2回の講演会や読み聞かせ、紙芝居などのワークショップを行った。</li> </ul>
具体的な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備段階・・・絵本についての学習会を重ね、展示内容を検討して絵本の写真を取り、パネル18枚を制作した。</li> <li>・展示内容・・・来館者にはパネルの説明や展示内容の説明をして、たくさんの絵本をいすに座って、手に取ってもらいながらゆっくり読んでもらった。日本語が中心だが、韓国語の絵本も展示した。</li> <li>・韓国文化体験・・・チマチョゴリの試着や、チマチョゴリの折り紙、楽器などで体験してもらった。韓国語の歌も歌った。</li> <li>・絵本『あおがえる』や『よじはんよじはん』の読み聞かせや紙芝居『とらとほしがき』などを行った。その際、チャングという楽器も聞いてもらった。</li> <li>・講演会・・・11月23日(土)は、大竹聖美さんを講師として「韓国絵本とのすてきな出会い」という題で講演会をしてもらった。12月1日(日)は、朱自強さんや大竹聖美さんを講師として「日中韓平和絵本シリーズについて」という題で講演をしてもらった。前者は58人、後者は16人の外部からの参加者を得ることができた。</li> </ul>

	<p>・見学者の様子・・・絵本に関心のある方はもちろん、韓国・朝鮮に関心のある方が思ったより多くて、また日本人が一番多いが、韓国人（留学生を含む）、在日韓国・朝鮮人、の方も多く見学してくれた。1回では読み切れないからといって2回3回と来てくれた方もいた。またの機会に、再展示をして欲しいという希望も出ていた。</p>
事業の成果	<p>・期間中 1000 人近い見学者があり、展示内容についての感想は、おおむね好評であった。（10、11月は404人、12月は248人、1月は360人であった）。</p> <p>・2回の講演会の内容も分かり易く好評であった。</p> <p>・100冊以上の絵本を目の前にできたことに感動したり、初めて見る絵本の多いことに感動していた方が多かった。</p> <p>・他ではあまり見られない朝鮮の絵本を読んで、興味を持たれた方も多かった。</p> <p>・大学生・高校生の団体見学が多く、国際理解や多文化共生の学習ができたと喜ばれた。</p> <p>・とても良い企画だから、また企画してほしいという要望があった。と同時に、高麗博物館のこれからの企画に関心を持ってくれた方も多かった。</p>

## 2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

	経費	積算根拠（内訳）		金額
	収 入	団体負担金	高麗博物館	
参加費・資料代等		入館料大人 400 円×766 人=306,400 円 入館料中高生 200 円×67 人=13,400 円 講演会参加費 11/23 1,000 円×60 人=60,000 円 講演会参加費 12/1 1,000 円×13 人=13,000 円		392,800 円
その他の収入				0 円
協働推進基金助成金		助成金申請額		300,000 円
計				695,229 円
支 出 （ 助 成 費）	費目	決算額	内 訳	
	会議費	19,320 円	研究会資料 1 枚 2.3 円×1.05×20 枚×10 人×40 回= 19,320 円	

宣伝費	157,175 円	展示用パネル 8,100 円×18 枚×1.05=153,090 円 絵ハガキ 1,500 枚=4,085 円
リース費	0 円	
消耗品費	84,798 円	ポスターA3 60 枚 用紙 2,240 円×1.05=2,352 円 カラーチラシ A4 200 枚 用紙 2,900 円×1.05=3,045 円 インク代 25,070 円×1.05=26,323 円 A4 会議用紙 0.5116 円×8,000 枚=4,092 円 A4 白黒チラシ用紙 (1,500 枚入り)1,644 円×4 セット=6,576 円 , (5,000 枚入り) 5,080 円×5 セット=25,400 円 A4 白黒チラシ印刷 マスター7,200 円×1.05×1 本=7,560 円  A4 白黒チラシ印刷 インク 3,000 円×1.05×3 個=9,450 円
謝礼	30,000 円	神谷丹路 10,000 円 大竹聖美 20,000 円
人件費	0 円	
材料費	50,000 円	朴 民宣 50,000 円 (原画賃借料)
交通費	141,900 円	詳細は別紙
その他諸経費	180,305 円	郵便料金メール便 80 円×276 通=22,080 円 家賃 137,232 円 光熱水費 20,993 円 (家賃、光熱水費については別紙参照)
助成対象事業費 (小計)	663,498 円	
余 剰 金	0 円	

助成対象外事業費	31,731 円	茶菓子代 絵本借用お礼 (2ヶ所から) 2,100 円×2 =4200 円 茶菓子代 展示室用 机4台借用料 3,150 円×1 = 3150 円 展示ケース収納箱 23,220 円×1.05=24,381 円
事業総額		695,229 円

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国・朝鮮の絵本を通して、韓国・朝鮮への理解と共感を得ることができた。</li> <li>・多文化共生・国際理解への関心や理解を深めることができた。(特に高校生や大学生)</li> <li>・地域の小学校や幼稚園、保育園との交流ができた。図書館との協力体制も出来てきた。</li> <li>・当初の目標は十分達成できたと思う。</li> </ul>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新大久保に来ていた韓流ファンの方もいらして見学してくれたので、絵本やその他の文化的関心も広めてくれたと思う。</li> <li>・準備段階で、新宿区の中央図書館・大久保図書館などの方に協力して頂けたことが、ありがたくまた今後のお互いの活動につながりが生まれたと思う。</li> <li>・地域の大学生が社会人になっても隣国への関心を持ち続けてくれれば、今後よい効果が出ると思う。</li> </ul>
費用対効果は適正であったか。	<p>予定していた以上の入館者があり、多くの方に韓国・朝鮮の絵本をみてもらえて、この展示の目標としていた「韓国・朝鮮」への理解と共感をもっていただけたと思う。充分、費用対効果はあったと考える。</p>
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の課題としては、一番関心のある層かと思っていた、幼児を連れた 30 代、40 代の世代の方の来館が少なかったことである。</li> <li>・対策としては、夏休みのような時に開催する、または若い世代に関心を持てるテーマを考えるなどの工夫が必要だと思った。</li> </ul>
理解者や支援者が広がったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者の中に、共感を示す方が多かったので理解者や支援者はとても広がったと言える。</li> <li>・全体的には、絵本を通して韓国・朝鮮への関心・共感を持った方が多かった。また、民間交流の大切さを話す方も多かったし、高麗博物館の活動に</li> </ul>

	関心を持たれた方も多かった。
事務局の執行体制は十分だったか。	・何度も会議を開き相談しながら、開催までこぎつけることができた。いろいろ問題点もあったが話し合いで解決してきた。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	・会費と入館料が主な財源である当館にとって、来館者が増えたことが、今後の企画に対する呼び水になっていくように思われるし、会員の増加にもこれまで通り努力していくことが大切だと思っている。 ・もう一つの側面は、当館の展示内容に共感を得ながらすすめることと、当館の存在そのものも知らない方も多いため、宣伝して広めていきたいと思う。
その他	今後、機会があれば今回の展示のパネルや絵本の出張展示(移動文庫)のようなことも考えている。

#### 4 活動の成果

\* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。  
\* 参加者の意見なども報告してください。

<p>・ 盛況だった企画</p> <p>・ これまでより広がった来館者層</p> <p>・ 今後に広がる期待</p>	<p>①期間中 1000 人近い見学者があり、韓国・朝鮮の絵本に関心のある方が、予想以上に多いことが分かった。</p> <p>②書店や図書館に行ってもこれだけ多く(100冊以上)の韓国・朝鮮の絵本を見ることはできないということが、見学者にとっての驚きと喜びであった。</p> <p>①大学生や高校生の団体見学者が多く、初めて高麗博物館に来られた方が多かったので、若い方たちに多文化共生や国際理解への関心があることがわかった。</p> <p>②現職の幼稚園や小学校の先生が選書の参考にしたい、ということで見学されたので、実際に役立てていただけることがよかった。</p> <p>③韓国学校や朝鮮学校の先生や親が(こどもを連れてきたとは限らないが)自分達も知らなかったと言って見学されていったことが多かった。</p> <p>④北海道から沖縄まで、全国の方が見学してくれた。</p> <p>①これまでとは違う層の来館者があったので、今後の企画にも参加してくれそうな方が増えた。</p> <p>②今まで取り上げたことのないテーマであったが、今後もこのようなテーマに挑戦していきたいと思われた。</p> <p>③今回は文化的なテーマであったが、今後の歴史的なテーマの企画にも関心を持ってもらえた方もいたので、来館者が増えることが期待できる。すなわち財政的な期待も持てるということである。</p>
<p>来館者の感想</p>	<p>①韓国の絵本を初めてみる機会でした。絵本をきっかけに韓国・朝鮮の歴史ぶんかをもっと知りたいと思う。</p> <p>②韓国の絵本のやさしさの表現に感動しました。韓国は詩を読んだり、書いたりするのがさかんと聞きますが、絵本からも韓国人(朝鮮人)の心の豊かさが感じられました。</p> <p>③日韓関係がおかしくなっている今、このような企画は大切だと思います。</p>